

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社日本製鋼所広島製作所 特機第4組立工場建設工事	階数	地上2F
建設地	広島県広島市南区堀越三丁目 1629-3の一部 他34筆	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	66 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年12月 予定	評価の実施日	2024年12月24日
敷地面積	61,544 m ²	作成者	三井住友建設株式会社広島支店一級建築士事務所
建築面積	1,675 m ²	確認日	2024年12月25日
延床面積	3,121 m ²	確認者	三井住友建設株式会社広島支店一級建築士事務所
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 1.5 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★		標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1のスコア= 0.0 Q2のスコア= 3.5 Q3のスコア= 2.1 Qのスコア= 2.7		LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 LR1のスコア= 4.2 LR2のスコア= 3.5 LR3のスコア= 3.6 LRのスコア= 3.8	
3 広島市の重点項目		重点項目の総平均スコア= 3.3	
「地球温暖化対策」の推進 スコア= 4.1		「ヒートアイランド対策」の推進 スコア= 1.5	
設計の計画段階に配慮した事項 // BEIm=0.00 // フロアリウムソイルドNW(床、RC-40(路盤材) No.1 LGS下地を採用 / ライフサイクルCO ₂ 排出率44%		設計の計画段階に配慮した事項 防振吊金物を採用 床:長尺塩ビシート貼、壁:ビニル吸吸貼 20年 天井:石こうボード 30年 給水 VP(B) 排水VP(B) 通気VP(A) Eは不使用 送風機 20年 / ケーブルラック配線を採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される